

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	ポンプ車の梯子架台を車庫内で操作し天井材を破損、破片が職員直近に落下した事案
3. 体験した事例の中心的要素	当職員（7年目、異動は3回目）は異動後初勤務であり、在籍職員から要注意点を伝達していく前に、車両トラブル（原因不明のオイル漏れ）が起こる。以後、当直の6人が個別で対処をしてしまい、当職員に、【車庫内では、梯子操作は不可】という伝達がなされないまま、梯子架台を操作してしまったもの。
4. 体験した事例の原因・理由	<ul style="list-style-type: none"> ・6人がトラブルに対処する前に、各人の役割分担を共有する時間をとっていなかった。 ・当職員を梯子操作側に配置するのではなく、他の配置にするべきであった。 ・当職員は上方の確認を失念した。（前所属では車庫に天井はなく梯子架台を操作できていた。）

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。（誤った手順を取った等）
------------------	---------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	令和4年4月7日 午前10時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋内：車庫内
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	飛来・落下ぶつにぶつかる
7. 事例体験時の活動	その他：車両取扱訓練
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	その他：車両取扱訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[30]歳、勤続年数[7]年、現場経験年数[6]年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[45]歳、勤続年数[25]年、現場経験年数[25]年、階級[消防士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [車長]
○当事者C	年齢[45]歳、勤続年数[22]年、現場経験年数[10]年、階級[消防司令] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [複数隊の隊長]
○その他(当事者が4人以上の場合)	他3名、計6名。当事者A以外の職員は、当所属にて1年以上勤務している

11. 事例発生経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者B	オイル漏れを発見。上席の当事者Cに知らせ、6人が状況を把握する	
経過2	当事者C	キャビンUPさせ、エンジンルーム調査を指示	
経過3	当事者A	キャビンUPのため、梯子架台をUPさせる必要がある	他の職員は車両移動の配置に就く
経過4	当事者A	梯子架台を上げたことにより天井ボードが破壊、破片が落下する	運転手が前進させる直前であった。
経過5	当事者A	当事者Aが声を上げるが、職員の直近に破片が落下した。	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思えるか？
- ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

たまたま、事故にならなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	はい
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	はい

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

オイル漏れ発見とソフトアップからのスタートであり、装備の使用方法を伝える時間がなかった。また、上方の確認を怠った。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

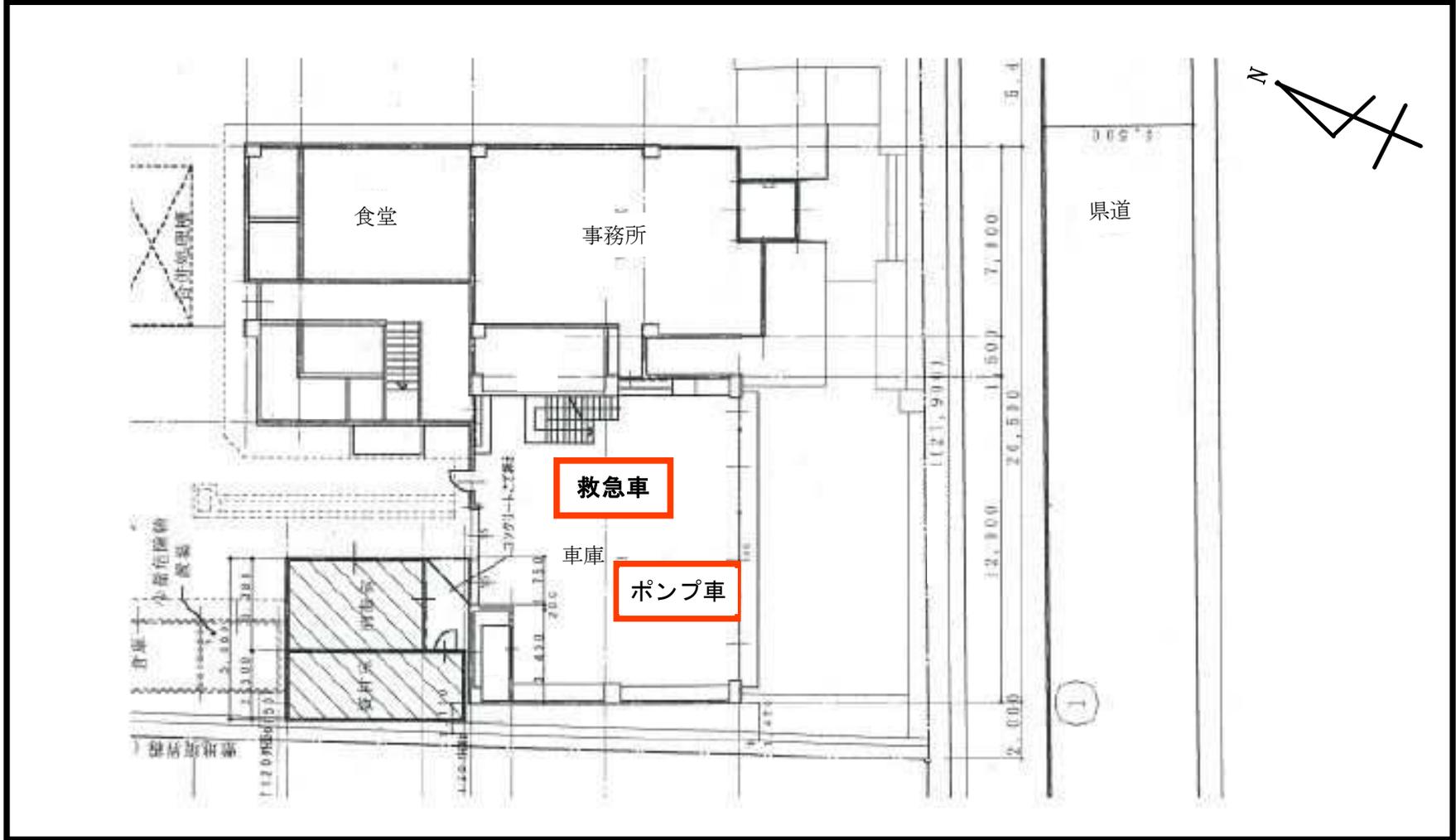
○活動環境の対策について

--

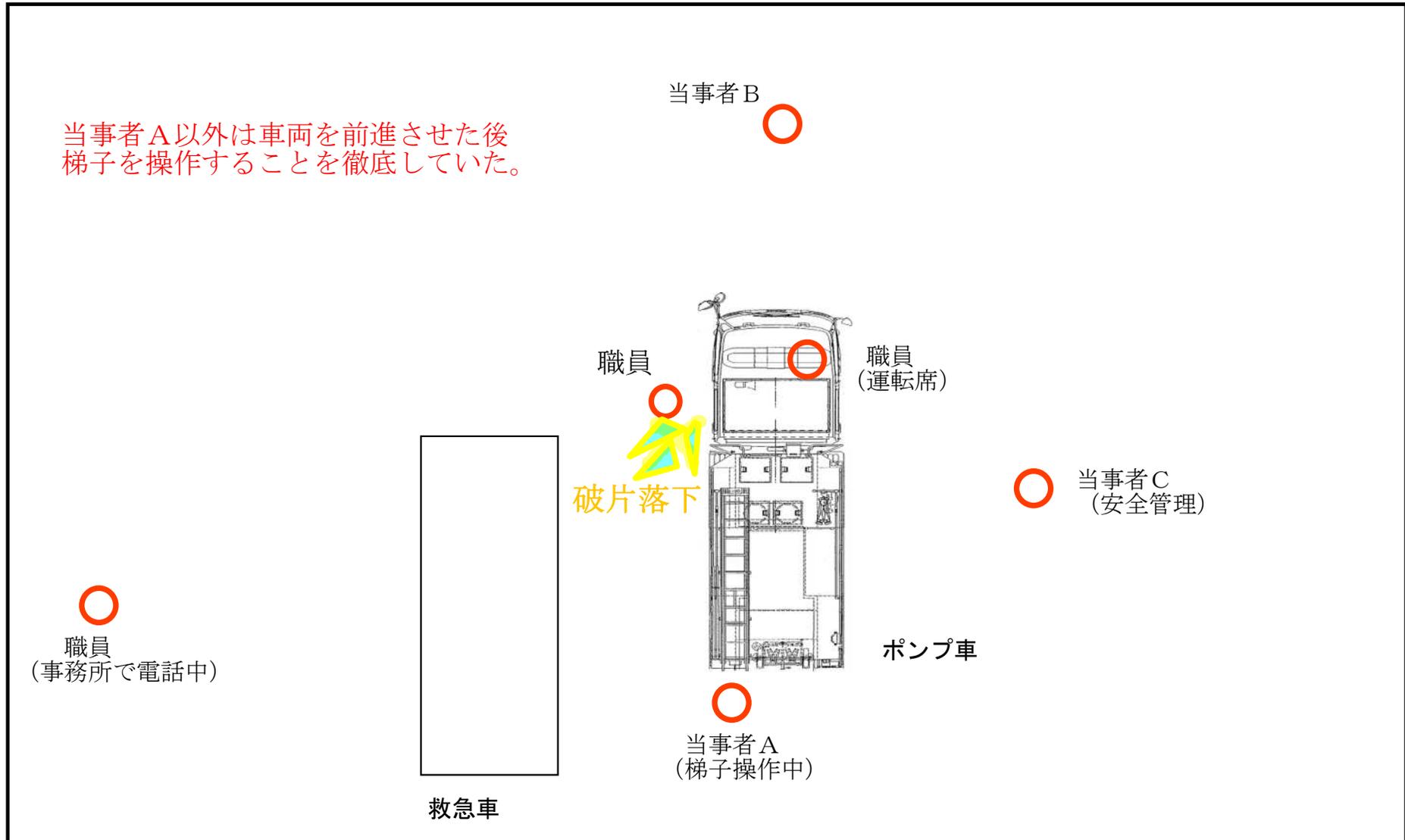
○指揮・情報伝達の対策について

--

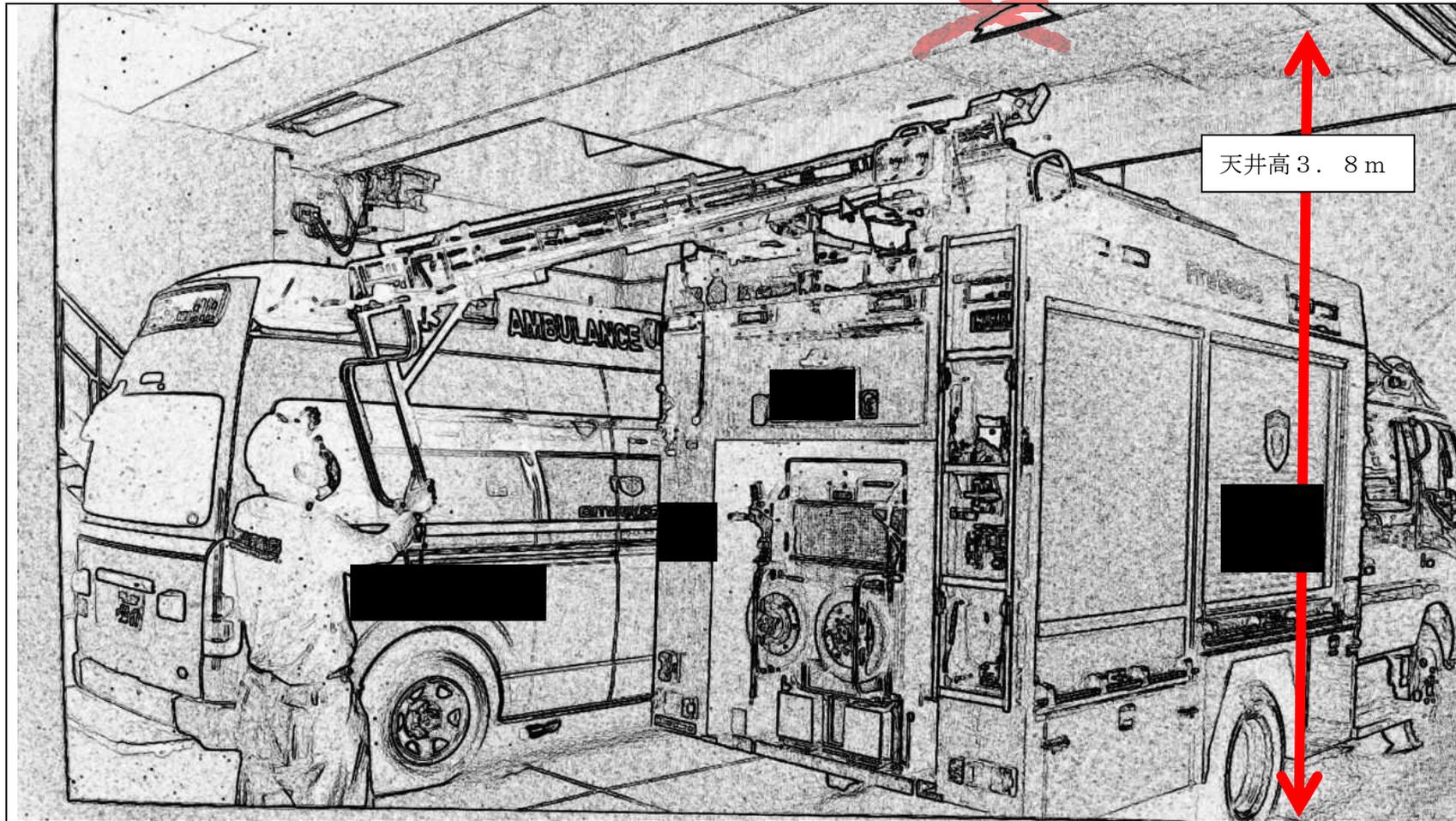
平面図



人員配置図



現場復元図



現場写真

No. 1 現場の状況再現



No. 2 天井ボード破損の状況



No. 3 梯子架台全操作時の状況



ポンプ1号車、梯子架台全操作時の高さ
照明先端からGLまで4.54m